

木の家の話



JCT

Japan Construction Trading CO. LTD.



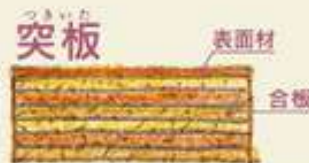
知って得する 木の話し

天然木ってなんだろう

ある大工の棟梁が

「今の日本の住まいは、建てた時が一番綺麗で、
時間が経つにつれて汚く見苦しくなる」と言っています。
合板や突板は均一的な美しさはありますが、味わいに乏しく、
時間とともに傷みが目立ち、見苦しくなっています。

天然木は**無垢材**ともいわれ、
どれをとっても同じものは無く、各々に**個性があり**、
それが本物ならではの存在感と、深い味わいとなっていきます。
天然木は、**本物の木そのまま**ですので、
呼吸をし、温かみがあり、湿度調節に優れ、断熱性もあります。
また、時間の経過と共に変化や収縮、反りも生じます。
しかし、そこにこそ味わいがあり、本物の木を実感させてくれます。



天然木(無垢)



表→芯→裏の全てが表面

天然木(集成無垢)



天然木と一緒に暮らす事は、

自然の優しさを感じながら暮らす事なのです。
天然木の価値は、家を建てる方の気持ちで高まります。
天然木を愛する人によって、その家は輝き、
価値のあるものになるでしょう。

人種もいろいろ 木種もいろいろ 人生もいろいろ



針葉樹
(ソフトウッド)
パイン
ヘムロック
スプリース
スギ



広葉樹
(ハードウッド)
オーク
アルダー
アシュ
メイプル

天然木は、針葉樹と広葉樹に大別されます。
針葉樹はマツやスギに代表されるように、
成長が早く入手しやすい材料です。
幹が真直ぐ成長するために、
長い木材としてよく使用されています。
手触りも**柔らかく**、加工がしやすく、
建築材料として好まれています。

オークやアルダーに代表される**広葉樹**は、
成長が遅いため、比較的入手しにくい木材です。
ただし、硬く加工も難しいが、**耐久性が高く**、
キズが付きにくいので、土足文化の住宅などでは、
床材として古くから使用されてきました。

さらに細かく分けると、種類はもちろん、
成長した場所、方角、温度や日照時間などで、
様々な性格や特徴を持っています。
人がそれぞれ違うように、
天然木も個性豊かな仲間が揃っています。
天然木を選ぶ時は、
よ〜く性格を理解してからがいいようですね。

やっぱり 木の家がいい



人類の遠い祖先は、森の中、樹の上で生活をし、
樹上から草原へ進出した時も、
食料や外敵から身を守ることを考えると、
やはり生活の中心は、木だったでしょう。

木そのものが「家」だったのです。

そういえば、人類の遠い祖先が

森の中で生活していたために、

木の家に惹かれるという説があります。

それは私たちの遺伝子に組み込まれた遠い記憶・・・。

木の家で生活することは、私たちにとって

自然の行為なのかもしれませんね。

ただ、本物の天然木には、

沢山の**わがままな性質**があります。

でも性格は朴訥で、真面目です。

性格を理解すれば、住む人を裏切りません。

日本は、かつて「木と紙の文化」の国と

言われていたことがあります。

木を使って住まいを建て、

木の道具を使った、人々の暮らしがありました。

私たちに一番**身近で親しみやすい**暮らしが、

木に囲まれた生活なのかもしれません。

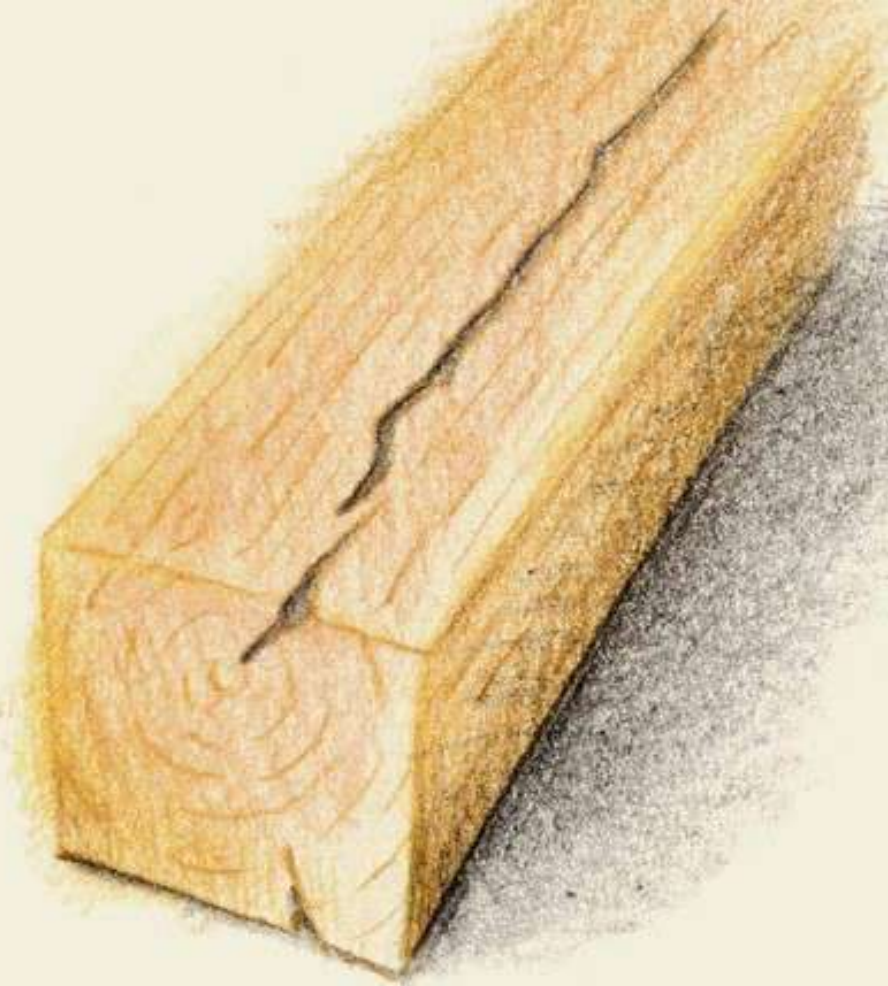
やっぱり木の家って本当にいいですよ。

思い出しと一緒に暮らす



木は**再生可能**な天然資源なんです。
 百年を超える古民家を
 建て替える作業をご存知ですか？
 最近のように重機で建物を壊して
 建て替えるのではなく、
 組まれた木材を**順序良く解体**していき、
 大黒柱、太い梁などを再利用して、
 傷んだ部分を新しい木で修復したり、継ぎ足して、
 再び家として組まれていきます。

それでさらに**百年はもつ家**に
 生まれ変わるんです。
 再利用されなかった部分は、
 新しい木の家の一部として、
アクセントなどに使われることもあります。
 100年以上先、
 お孫さんやその子供達が建てる家に、
 あなたとの**大切な思い出**のひとつとして、
 天然木の一部が使われているかも知れませんね。



天然木の家では、柱や梁に

「**割れ**」があるのをよく見かけませんか。

これは木の乾燥による収縮が

一様でないために起こるものですが、

昔から人々は、「割れ」は材料が木だから、

当たり前のものと受け入れ、暮らしてきました。

長く暮らしていく住まいならではの、前向きな考えで、

多少のキズやひずみも**わが家の表情**として考えると

愛着がわいてくるものです。

木には割れの他にも、反り、ねじれなどのひずみがかかります。

これは、伐採後でも木が**生きてる**といわれる

理由のひとつで、強度的にはあまり

問題はありません。

ただ、住宅建材としては、扱いにくいところでもあるんです。

でも、**手のかかる子**ほど

かわいいと言うじゃないですか。

一緒に暮らしていくわけですから、

ここはひとつ、やんちゃぼうずと思って、

仲良く、**末永いおつきあいを……。**

**憎めない
やんちゃぼうず**

木は樹種によって当然、色・香りも違い、
硬さ・重さも違ってきます。
一本の木の中にも硬さや色の**違い**があります。
太陽が昇り、そして沈み一日が過ぎ、
それをくり返して年月を重ねていく……。
地球という星の営みの中で
木は成長していきます。

癖はありますが
優しい奴が



木には、一年の中で活発に成長する時と
活発でない時期があり、
その差が**年輪**となって現われてきます。
年輪は製材されると、
木目となって私たちに様々な表情を見せます。
製材される部分、方向によって
木はひとつひとつ**違った表情**を持つことになります。

また、節はもとは枝として成長していた部分で、
他の自然素材にはない、個性的な表情となっています。
天然木の性格はと言うと、ちょっと癖がありますが、
気持ちは優しい本当にいい奴なんですよ。



おーい
今日は寒いよ。

木が話しかけてる 恐いですか

天然木の家では夜、寝静まったときに、まるで木が何かを語りかけてくるように「ピシッ」と音がすることがあります。それは木が呼吸して、伸び縮みするために起こる音です。呼吸とはいっても、乾燥状態で細胞が空気中にある水分を吸ったり、吐いたりする**調湿活動**をいいます。まるで木が環境の変化を、私たちに知らせようと、**話しかけてる**みたいですね。

天然木の家は、冬に床板の間に少し隙間ができ、夏には元に戻ります。これは冬に空気が乾燥すると湿気を吐き出して収縮し、夏は湿気を吸い込んで膨張するためです。

困ったものです。天然木も人も**素朴すぎて**、複雑な人間関係の中では生きにくいものなのかもしれません。自然のままに生きる、ちょっと変わった**愛嬌のあるやつ**としてつき合えばどうでしょう。

自然素材の金メダリスト「天然木」 ストレスをやわらげるってほんと？

天然木の香りには、

人の神経を鎮める精神安定効果があり、
血圧を抑えたりする効果があることが知られています。
これは、木が害敵から身を守るために発する物質でもあり、
細菌類の増殖を抑える働きや、
中にはアレルギーや喘息の原因となる
ダニの増殖を抑える効果を持つものもあります。

そういえば、

ねずみをコンクリートの箱と木の箱に入れて
生活させる実験をしたところ、



コンクリートの箱のねずみは、
ストレスが原因で死んでしまったそうです。
このことから、木にはストレスを抑制する
働きがあることが分かっています。

また、木目には、人体のリズムと調和して、
快い安らぎを与えてくれる効果もあるそうです。
天然木は、人に**安らぎと癒し**を
与えてくれるだけでなく、
心身共に**健康にしてくれる**、
自然素材の金メダリストなんです。

本物造りの主人公は「天然木」 名脇役が自然塗料



ところで、最近問題になっている
シックハウス症候群などの影響で、
自然塗料の人気が高まってきています。

世界で最も環境基準の厳しい
ヨーロッパの**自然塗料**は、
製品の質、人気共に、世界はもちろん、
日本でも常にトップランクに位置しています。
「エコロジー」という言葉が一般化する以前から、
自然塗料を作り続けている**歴史**とともに、
自然**環境に対する姿勢**は、
素晴らしいものがあります。

天然木と自然塗料の関係は、映画でいえば、
主人公とそれを助ける名脇役のようなもの。
二人で力を合わせて、
ストレスやアレルギーといった悪から
私たちを**守ってくれる**、正義の味方です。
長く使い続けるためにも、
天然木の味わいを損なわないためにも、
自然塗料の使用を忘れずにいたいですね。

短い間で お別れです でしたが

天然木には、たまに**お客様**がいることがあります。

それは小さなお客様「虫」です。

製材されても、偶然生き残り、

幼虫のまま木の中で過ごして、

さあ大人になろうと顔を出したら、

自分の住まいが人の住まいの一部になってた、

ある意味**ドラマチック**なお客様。

このお客様、オークやケヤキなどの

品質のよい木をお召し上がりになる美食家。

大事な家なのに「**けしからん!!**」

という方もおられると思いますが、

よく考えると、その天然木は、

生き物の食事になるほど、

安全だと言うことです。

成虫までの住まいですから、

一枚の板だけが生活空間ですし、

シロアリのように繁殖しません。

また、彼等は成虫になって一度飛び立つと、

再び舞い戻って住み着くことはありませんから、

ご安心ください。



さよならー

私たちは、どれだけ 自然を残せるのだろうか



もともと日本の山や森林は、広葉樹の雑木林でした。

秋になれば、クリやブナ、ドングリなどの

豊富な自然の恵みを、

森に住む動物達に与えていました。

そして紅葉は、人々の目を楽しませ、

地面にしみこんだ水は、

人々においしい水をたくさん供給してきました。

ところが、現在、ほとんどの山は、

材木用の杉などが整然と植えられています。

おかげで、杉の**花粉症の人が増加**し、

人の手の入った山は、地面に水がしみこむよりも川に溢れ、

ちょっと大雨が降るとすぐに**洪水**となり、

崖崩れも頻繁に起きます。

自然のままの里山を、私たちの孫子の代に、

どれだけ残していけるか、真剣に考えなくてははいけませんね。

天然木のキズはヤスリをかけて塗装すれば、

再生したように**生まれ変わります**。

私たちに物を大切に作る心があれば、

木の家に住み、長く暮らしていくことが、

伐採の数を減らすことにもなるのです。

木の家は、自然を残すことにもなりますね。

ヨーロッパの人々が、
 キズのついた家具や無垢のドアを、
 思い出とともに、
 伝統的に**大切にしている**のは有名な話です。
 アンティークな家具などは、
 天然木で作られているから、
 使えば使うほど**味わいが出て**、
 それがまた多くの人を
惹き付けているのではないのでしょうか。

天然木が見てきた、何十年、何百年の時に思いをはせれば、
 キズのひとつひとつに
ドラマがあることが想像できますよね。
 最近、新品なのにわざわざハンマーでキズを作り、
 使い古した雰囲気の商品を楽しんでいる人も増えています。
 古民家で感じる、あの独特の味わいもいい例ですが、
 天然木の住まいは、暮らしの歴史がしみ込んでいくように、
 年を追うごとに味わいが深まり、
価値が高まっていく住まいになります。

年を追うごとに
 価値が高まる
 住まいになる



木の家の話・おまけ編

大自然が演出する 流木のロマン



最近では、**流木**を使った
アートやインテリア商品が人気を集めています。
流木は、本来なら子孫のための肥料となるべき、
一生を終えた木や枝が、川を下り、大海へ出て、
海流に乗って**遥かな旅**に出ます。

木の種類、部分によって、そして水、大気、時、
環境の影響を受けながら、大自然の中で長い時を経て、
唯一無二の形へと姿を変え、
再び陸地へ帰ってきたものです。
形の妙ばかりでなく、色合い、感触、
そして心を落ち着かせる風合が、
神秘的な雰囲気を感じさせます。

自然が作り上げた芸術ともいえる
流木を机の上に置いて、

大自然と時の流れのロマンを感じてみてはいかがでしょうか。
木と私たちの間にはきっと太古から続く、
切っても切れない関係があるんじゃないでしょうか。
だからこそ、私たちに不思議なぐらいの
感動を与えてくれるのでしょう。

**木は流木になってからも、人の心に
何かを呼びかけているようです。**